

児童養護施設等
海外留学体験奨学プログラム
(児童画像削除版)

**2014年度
実施報告書**

2014年9月
NPO法人国際教育支援機構
スマイリーフラワーズ

報告書2014 目次



- P.2 代表者挨拶
- P.3 実施内容
- P.4-5 実施概要
- P.6 募集要項
- P.7 渡航前~出発まで
- P.8-9 現地プログラム
- P.10 帰国後報告会
- P.11 メディア掲載
- P.12 収支報告



代表者挨拶

海外留学体験奨学プログラムは2011年の団体設立以来、施設児童の可能性を引き出す新たな取り組みとして、当団体が実現を目指して準備を進めてきた機会支援プログラムです。

2014年度の開催実現にあたっては、ご賛同くださる市民の皆様をはじめ、資金をご提供くださった企業様、現地受け入れを承諾くださった教育機関及びサポート企業様、大切な児童をお預けくださった施設職員の皆様など、多方面にわたるご理解とご支援の賜物と深く感謝しております。

当プログラムは、施設児童本人が日本を飛び出し「自らの可能性に気づく機会を提供する」ことをテーマとして実施しています。児童養護施設に入所、又は退所する子どもたちの多くは、親からの虐待などによる経験から「自信」や「自己肯定感」を持つことが比較的難しい状況にあり、自らの将来にも悲観的になる傾向がみられます。

そのような中で、日本の常識にとらわれず、世界を体感することで得られる自信や可能性がある私たちは考えています。当法人が持つ世界的なネットワークとサポート体制を活用することで、一人でも多くの施設の子どもたちが、未来への夢と希望を持ち、いきいきと活躍できることを心より願っています。

NPO法人国際教育支援機構
スマイリーフラワーズ
代表理事 窪田広信



実施内容

◆ 実施団体

- ◆ 主催運営： NPO法人国際教育支援機構スマイリーフラワーズ
- ◆ 資金提供： 株式会社ステートストリート社
- ◆ 現地サポート機関 (Australia): GCS Group Australia Pty. Ltd.
- ◆ 現地受入機関 (Australia): Inforum Education Australia
- ◆ 現地受入機関 (Philippines): Man To Man Boarding School

◆ 実施日程

	福岡
奨学生募集開始	2014年1月10日(金)
奨学生募集締切	4月30日(水)
奨学生選考決定	5月31日(土)
プログラムオリエンテーション 渡航準備勉強会	6月8日(日)
出発前オリエンテーション	7月20日(日)
渡航開始(Australia) . 渡航開始(Philippines)	8月1日(金) 8月2日(土)
帰国(Australia) . 帰国(Philippines)	8月11日(月) 8月24日(日)
帰国後報告会 (2施設で実施)	8月31日(日) 9月28日(日)



実施概要①



◆ 現地紹介①

1、渡航国

【国】 オーストラリア

【都市】 ゴールドコースト

【時期】 2014年8月1日(金) ~ 8月11日(月)

【言語】 英語

【特徴】 世界的なリゾートエリアとして知られるオーストラリア・ゴールドコースト。数十キロにわたって続く黄金の海岸線から名づけられた都市名の通り、穏やかな気候と雄大な海がすべての人を包み込む。



2、現地受入機関

【学校名】 Inforum Education Australia (CRICOS provider code: 02894G)

【所在地】 L4, 33 Scarborough St, Southport QLD 4215 Australia

【コース】 2014 Inforum Teenager's Program

【滞在】 ホームステイ

【特徴】 アットホームで生徒一人ひとりを温かく迎え入れる校風は、オーストラリアの中でも随一の評判の学校。コースは世界中から集まる10代の生徒専用のプログラムで、午前中の英語クラスと午後のアクティビティクラスで構成される。

3、現地サポートオフィス

【機関名】 GCS Group Australia Gold Coast

【所在地】 29 Elkhorn Ave, Surfers Paradise QLD 4217

【特徴】 オーストラリアで No1 の支店数を誇る現地留学生サポート機関。各都市オフィスには日本人スタッフが常駐し、万一の事態にも万全の体制でサポートする。



現地受入機関は長年の付き合いから Inforum Education Australia を採択。アットホームな校風も然ることながら、何よりもスタッフに絶対的な信頼が置ける。今回の受入でも、早くから生徒の情報を元に滞在先のホームステイを選定し、学校でもトップクラスのホームステイホストをアレンジ。滞在中まできめ細やかな配慮がみられた。また現地サポート機関としても現地有数の留学生サポート機関が万々に備えて待機。万全の体制で臨んだ。

実施概要②



◆ 現地紹介

1、渡航国

【国】 フィリピン

【都市】 ターラック

【時期】 2014年8月2日(土) ~ 8月24日(日)

【言語】 タガログ語・英語

【特徴】 日本からもほど近く、時差が少なく費用が安いことなどから、近年人気を集めているフィリピン。その留学スタイルは現地学校施設に泊り込む合宿スタイル。



2、現地受入機関

【学校名】 Man to Man Boarding School INC

【所在地】 Rio Madera Tibag, Tarlac City, Philippines

【コース】 子ども留学

【滞在】 敷地内学生寮

【特徴】 日本人スタッフが常駐する、フィリピン有数のクオリティとサポートを提供する語学学校。マンツーマン授業を主として、生徒一人ひとりに合わせた学習環境を提供している。



現地受入機関は、信頼できる日本人スタッフが常駐する Man to Man Boarding School を採択。今回、参加した奨学生が将来的に長期海外滞在を希望していたこともあり、以前より長期受入を申し出てくださいっていた本校に送り出した。現地滞在中から、都度、写真や児童の状況を報告をくださるなど、とても細やかな配慮をいただいた。

募集要項



児童養護施設(自立援助ホーム含む)に入所する児童を対象とした、海外留学体験を実施提供するプログラムです。事前の準備期間、及び現地での語学研修・ホームステイ体験を通じて、海外での異文化体験の機会を提供し、対象児童の国際性や自信を養うと共に将来への夢を描く機会を提供することを目的とします。

◆ 募集選考について

1、募集

【期間】2014年1月10日～2014年4月30日

【対象者】 児童養護等施設で生活する高校1, 2, 3年生、又は16歳以上の施設退所者。

【応募条件】 プログラムの主旨を理解し、全プログラムへの参加ができること。

【方法】 福岡県内にある児童養護施設及び、自立援助ホーム等に募集案内を送付。

2、選考

【期間】2014年5月1日～5月31日

【選考】 書類選考と内容に応じて面談を実施。

【選考方法】 選考基準に従い、選考を実施。

【応募者数】 3名(男性2名、女性1名)

選考基準

- 1、海外への意欲
- 2、自立心
- 3、協調性
- 4、継続力
- 5、他者への感謝・思いやり

3、選考結果

【合格者内訳】

男女別： 男性2名、女性1名

学年別： 高校2年生2名、高校3年生1名

施設等所在地別： 福岡市内2名、福岡市外1名



留学体験奨学生の対象者は、現在児童養護施設に暮らしている、又は退所した児童で、海外に関心を持つ児童を対象とします。選考基準は海外への意欲と、自分のことを自分でするという自立心、協調性、継続力、他社への感謝・思いやりを基準として、申請書類による書類選考及び面談を実施。

課題としては、初年度ということもあり、奨学生募集から決定に至るまでに予想以上の時間を要し、施設関係者への十分なプログラム説明ができなかった。次年度は今年度の実績も含めて、早い段階から広く施設関係者への広報を実施する。

渡航前～出発まで

◆ 事前準備について

1、渡航前準備

- 【実施日】 2014年6月8日(日)
- 【対象者】 プログラム参加者全員
- 【実施場所】 各児童養護施設
- 【実施内容】 プログラムへの参加意思の再確認。及び海外留学体験における心構え、英語力や持ち物について、渡航までに準備しておくべきことについて確認した。

出発前オリエンテーションで集合写真

2、出発前オリエンテーション

- 【実施日】 2014年7月20日(日)
- 【対象者】 プログラム参加者全員
- 【実施場所】 株式会社ステートストリート 福岡支店 会議室
- 【実施内容】 渡航前の最終確認。現地滞在先となるホームステイ詳細の受け渡し、航空券及び保険証券の確認。お金や持ち物についての確認。現地で必要となる英語についての最終チェックも実施した。



今回、奨学生の募集及び確定に時間を要したこともあり、渡航前の事前準備が計画通りに実施できなかった。次年度は余裕を持った募集及び奨学生の確定を行い、計画的な事前準備を実施したい。

◆ 出発当日

1、渡航情報

- 【出発日】 2014年8月1日(金) 経由地タイ空港にて
- 【出発時間】 11:35
- 【出発空港】 福岡国際空港
- 【航空会社】 タイ航空(TG649)
- 【乗換経由】 タイ・バンコク
- 【現地空港】 オーストラリア・ブリスベン空港 出発前の福岡空港にて
- 【到着時間】 11:50 (2014年8月2日)

当初、成田周りゴールドコースト行きの直行便(JAL、QF、JQ)を予定していたが、帰国時に同日で成田から福岡に繋げる便が無く、福岡空港発タイ・バンコク経由のタイ航空にて手配。また、参加児童が2名とも飛行機への搭乗自体が初めてということもあり、施設職員からの要望もあり、急遽弊社スタッフが添乗員として同行した。

現地プログラム① - Australia -



INFORUM
EDUCATION
AUSTRALIA



◆ Inforum 2014 Teenager's Program

Inforum Education Australia が毎年夏に開催する10代専用のプログラムで、同年代の生徒が世界中から集まる。午前中は英語クラスで英語を学び、午後からは野外でオーストラリアならではの様々なアクティビティに挑戦するというオーストラリアを満喫するプログラムとなっている。

Date	4/08/2014	5/08/2014	6/08/2014	7/08/2014	8/08/2014	9/08/2014	10/08/2014
Day	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
午前	英語授業	英語授業	英語授業	英語授業	英語授業	ドリームワールド	ホストファミリーと自由時間
午後	小・中学生 海沿いの公園でスポーツ 	オーダー英語と歌 CALL BY 0800 000 000 JAWOLFEY NO HORRIBLE.COM Phone: 1300 000 000 www.inforum.com.au 0800 000 000 0800 000 000	ビーチ アクティビティ 	アボリジニ文化とブーメラ ン作り 	ゴールドコーストアート カレッジ体験入学 	 	
	高校生	英語授業（ご希望により上記アクティビティに午後から参加することが出来ます。また、英語に自信のない生徒さんは、Teenager特別クラスで英語を学ぶ事ができます。）					

英語クラスの様子

アートカレッジ体験

テーマパークツアー

◆ 滞在・ホームステイについて

滞在は現地の実生活を体験できるホームステイ。英語でのコミュニケーションに苦戦しつつも、それぞれの家庭に分れて滞在を楽しんだ。

ホストファミリーと夕食

ホストファミリーと記念撮影

朝のビーチを散策

現地プログラム② - Philippines -



◆ Man to Man Boarding School

学校に常駐する日本人スタッフが、滞在中の保護者代わりとしてサポートしてくれる為、治安が心配なフィリピンでも子どもだけで安心して渡航させることができる。学校敷地内に滞在する寮や食堂、また運動場やプールまで完備されており、生活に必要なすべての施設が整っている。また留学中、子どもたちは外出の際にはスタッフ、もしくは成人の学生の付き添いが必要となり、一人での外出はできない。また外泊に関しても保護者の許可が必ず必要となるなど、厳しい規則によって、子どもたちが安全に滞在を楽しめるよう配慮されている。

現地オリエンテーション

マンツーマン授業の様子

グループ授業の様子

小学校で子どもたちと交流



孤児院でボランティア

学校敷地内にすべての施設が整っている

帰国後報告会

◆ 報告会について

1、報告会 (1)

【実施日】 2014年8月30日

【実施場所】 福岡市外 児童養護施設 大食堂

【実施内容】 児童約70名を集めた大食堂にて、プログラム

参加者が、現地写真を写しながら体験談を発表した。

2、報告会 (2)

【実施日】 2014年9月28日

【実施場所】 福岡市内 児童養護施設 会議室

【実施内容】 児童養護施設内で実施する英語クラスにて、

施設での報告会の様子

プログラム参加者が体験談を発表した。

施設内での報告会の実施によって、参加者の体験が他の施設児童へ波及し、海外への関心が高まるなど、とても良い効果が得られると感じた。また次年度以降の課題として、参加児童が引き続き海外や英語への関心を維持できるよう、継続したフォローが必要と感じた。

◆ 帰国後アンケート

1、参加者感想文

【男児・高校2年生】 最初に話を聞いたときは、正直行くかどうか迷いました。いつてみたいというワクワク感と、事故やアクシデントがもしあったらという不安でいっぱいでした。オーストラリアでは、普段日本では見れないような光景ばかりで、すべてがおどろきと感心で満ちていました。このプログラムに参加して本当によかったと、心から思います。今回の体験は将来をすごしていくためのよい経験に成ったと思います。そして今回の体験で海外に少し関心が持てました。次は自力でいけたらと思います。

【男児・高校3年生】 日本にいる時よりも英語に触れる機会も多く、マンツーマンの授業が主だったので、自分から何かを話さないと授業にならないというプレッシャーもあり、自分から積極的に授業に取り組むことができました。日に日に自分でも英語を理解できるようになったなと実感することができたので授業を楽しく受けることもでき、この三週間はとても意味のあるものになったなと思いました。今回このプログラムは僕にとってとても大事なものになりましたし、自分の目標を新たに見つけることができたので本当に良かったです。

2、施設職員アンケート

【施設職員1】 (渡航前は)期待と不安の入り混じった様子で、英文を一生懸命考えていました。(帰国後は)英語の必要性を留学前よりも実感できたようで、もっと勉強しようという意欲が湧いたようです。帰国後の笑顔から、留学中が大変充実したものであったことを感じました。

【施設職員2】 プログラムが決まってからは、とても楽しみにしており、勉強にも取り組んでいました。又帰国後は学校の英語の授業でも今まで以上に理解できるようになったと喜んでいました。本人の中でも沢山のことを感じ、学んだプログラムになったと、表情を見て分かるようになりました。

メディア掲載実績

- 2014年
 - 朝日新聞(朝刊) 5月29日
 - 毎日新聞(夕刊) 2月18日
- 2013年
 - 読売新聞(朝刊) 3月31日
- 2012年
 - 毎日新聞(夕刊) 12月26日
 - Yahoo! JAPAN news 12月26日

オン・ステージ

「生まれてからずっと、両親を失った。両親の死を知らずに、6歳の時に両親を失った。両親の死を知らずに、6歳の時に両親を失った。両親の死を知らずに、6歳の時に両親を失った。」

留学の機会 全ての子へ

NPO法人国際教育支援機構 窪田 広信さん 35

1977年、大阪府生まれ。オーストラリアから帰国後、留学を仲介する会社を立ち上げ、27歳の時に転勤で福岡市に転居した。2010年に、友人と留学仲介会社を創業したが、11年10月に退職し、NPO法人を設立した。

保護児童 継続支援が課題

全国の児童養護施設には、約3万人の児童が保護されている。以前は孤児が多かったが、現在は、虐待を受けた児童が約2割を占める。義務教育終了後、高校卒業までは施設にとどまることが多いが、施設を出た後の受け入れ先がなかったり、経済的に困窮したりする人も多く、就労あっせんなどの継続的な支援が課題だ。

窪田さんは、法人代表の傍ら、市内の児童養護施設でボランティアとして働いている。法人の活動は始まったばかりだが、一人でも多くの子どもたちの夢をかえてほしい。

施設の子を海外へ

「希望持つチャンス」 支援のNPO 福岡に発足

福岡市中央区に20日、児童養護施設の子を海外に送るためのNPO法人「国際教育支援機構」が発足した。代表の窪田広信さんは、施設の子を海外に送ることで、彼らの未来を切り拓くことを目指している。

窪田さんは、施設の子を海外に送ることで、彼らの未来を切り拓くことを目指している。施設の子を海外に送ることで、彼らの未来を切り拓くことを目指している。

施設の子こそ 海外留学を

「自分の可能性に気づいて」 代表・窪田さん 経験踏まえ後押し

3人を募集

7月に実施

「自分の可能性に気づいて」代表の窪田さんは、施設の子を海外に送ることで、彼らの未来を切り拓くことを目指している。施設の子を海外に送ることで、彼らの未来を切り拓くことを目指している。

プログラムの計画段階から紙面にてご紹介頂き、段階的に継続して掲載をいただいたことで大きな実績となった。今回の実績を元に次年度以降には、更に活動を広げていきたい。

収支報告

【収入】

一般寄付金収入	300,000
企業寄付金収入	1,031,600
その他寄付収入	62,250
助成金収入	0
前年度繰越金	147,581
総計	1,541,431

<解説>

* 当該収支表はプログラム実施期間である2013年10月~2014年9月に実施したオーストラリア留学奨学生2名、フィリピン留学奨学生1名の費用を適用

<収入主要項目解説>

- ◆一般寄付金収入は市民からの賛同寄附金
- ◆企業寄付金収入は株式会社ステートストリート社様からの大口寄付金(US\$10,000)
- ◆その他寄付収入は古本寄付、街頭募金など

<国内支出費用項目解説>

- ◆交通費は募集案内時等における施設訪問交通費
- ◆消耗品費は資料作成費、英語教材費等
- ◆事業人件分担費はプログラム実施期間(2013年10月~2013年9月)における従事者人件費総額の2割を案分
- ◆事業管理分担費はプログラム実施期間(2013年10月~2013年9月)における事務所賃借料、通信費、光熱費総額の2割を案分

<収支総括>

今年度のプログラム実施にあたっては、株式会社ステートストリート社様からの多大な支援によって実現した。次年度以降の課題としては、選択肢を増やして行くために、より広く支援を募って行く必要がある。

【支出】

<国内費用>	
交通費	21,186
消耗品費	5,845
事業人件分担費	180,000
事業管理分担費	183,342
<現地費用>	
現地学費・滞在費	311,184
往復航空券代金	409,590
AIU留学生保険費用	45,830
Visa取得申請費用	35,853
現地交流費用	44,690
現地交通費	33,621
添乗員人件費(11日間)	88,000
現地雑費	15,758
総計	1,374,899

<現地支出費用項目解説>

- ◆現地費用には、オーストラリア留学奨学生2名、フィリピン留学奨学生1名、添乗員1名の費用が含まれます。

Produced by
NPO法人国際教育支援機構スマイリーフラワーズ
〒810-0021福岡県福岡市中央区今泉1-18-55-601
電話 092-791-4360 FAX 092-791-4361

* 当該報告書内において提供されるすべての著作権はNPO法人国際教育支援機構スマイリーフラワーズに帰属します。当該報告書内で提供されるあらゆる形の情報及び画像の一部または全部を複製使用することは固くお断りします。当該報告書上に記載されている全ての団体名、会社名等には、それぞれの所有者に所有権が属する商標または登録商標が含まれています。